



L C D スピードメーター & タコメーターキット 取扱説明書

商品番号 : 0 9 0 1 3 3 3 1
適応車種 : KAWASAKI KSR110
フレーム番号: KL110A 0 0 0 0 1 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

～ 特徴 ～

スピードメーターはオドメーター、トリップメーター付き。デジタル表示で250 km/hまで測定出来ます。
タコメーターは精度の高い電気式でデジタル表示を採用し、油温計を標準装備。最高表示回転数は30,000rpm。
耐腐食性に優れたステンレスボディ。ラバーマウント式により振動低減させています。
[]仕様メーターはLED夜間照明の発光ムラがほとんど無く、輝度も大幅にアップ。さらに、液晶の表示性能も合わせて向上していますので視認性が格段に良くなっております。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
外品のバッテリーレスキットとの同時装着はしないで下さい。
スパークプラグは必ず抵抗入りプラグを使用して下さい。抵抗無しのものを使用した場合、ノイズによりタコメーターが正常に作動しなくなります。
当キットに付属している温度センサーを使用する場合、下記部品が必要になります。
オイルドレンボルトアダプター(07 04 054)

⚠ 注意 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。
(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。
(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。
(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。
(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)

⚠ 警告 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

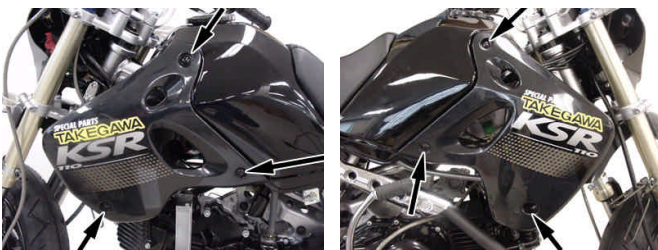
～商品内容～



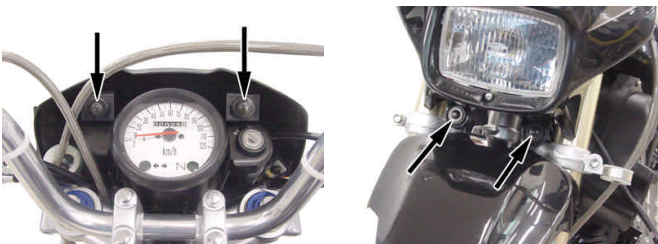
番号	商品内容	数量
1	メーターステー	1
2	イグニッションスイッチカバー	1
3	メーターサブコード	1
4	ハーネスカバー	1
5	LCD スピードメーター	1
6	LCD タコメーター	1
7	ブレーンワッシャ	8
8	カラー	4
9	クッションラバー	4
10	フランジナット 5mm	4
11	2Pスピードメーター電源用配線	1
12	3Pタコメーター電源用配線	1
13	パルス入力配線	1
14	温度センサー	1
15	エレクトロタップ	1
16	タイラップ 150mm	3
17	タイラップ 250mm	1
18	LEDインジケータースターランプ(グリーン)	1
19	LEDインジケータースターランプ(オレンジ)	1
20	熱収縮チューブ	1

～取り付け要領～

1. 左右シュラウド固定ボルト各3本を外し、左右シュラウドを取り外して下さい。



2. フロントカウル固定ボルト各4本を外し、フロントカウルのヘッドライトユニットの6極カブラ(白)の接続を外し、フロントカウルを取り外して下さい。



3. タンク左下車体側面のスピードメーター用6極カブラ(黒)を取り外し、エアクリーナーボックス固定ボルト2本と、ハンドルロックキーシリンダー後方のコードクランプ固定ボルトを外して下さい。

エアクリーナーボックス固定ボルト



コードクランプ
固定ボルト

4. タンク右下側のイグニッションスイッチ用2極カブラ(白)の接続を外し、イグニッションスイッチカバーを取り外し、STDメーターステーよりイグニッションスイッチを取り外して下さい。

5. スピードメーターケーブルを取り外し、トップブリッジ裏面のメーターステー固定ボルト2本を外し、メーター及びメーターステーを取り外して下さい。



6. メーターステーに クッションラバーを取り付け、 カラーをクッションラバーに差し込んで下さい。



7. 、 それぞれのメーターネジ部に プレーンワッシャを通し、メーターステーの カラーにメーターネジ部を差し込み、 プレーンワッシャ、 フランジナットの順で取り付け固定して下さい。この時、 スピードメーターが右側になるよう取り付けして下さい。注意：規定トルクを必ず守って下さい。

フランジナット $T = 4.9 \text{ N} \cdot \text{m} (0.5 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

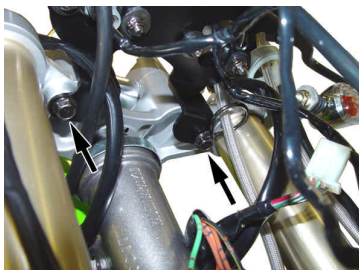


8. メーターステーに 、 インジケータランプをはめ込み、インジケータランプ付属のスプリングワッシャ及びナットにて固定して下さい。



9. メーターサブコードをSTDメーターコードと同じ取り回しでフレームに沿わせ、タンク左下車体側面のスピードメーター用6極カブラ(黒)と接続して下さい。
10. 左タンク下車体側面の左ハンドルスイッチ用9極カブラ(緑)のカブラ付近のビニールテープを剥がし、橙コードとメーターサブコードの橙コードを エレクトロタップにて接続して下さい。
11. 項目(7)で組み立てたメーターステーを、STDメーターステーと同じトップブリッジ裏にSTDフランジボルトにて取り付け固定して下さい。この時、左側メーターステー取り付けボルトにてケーブルクランプを忘れずに取り付けして下さい。注意：規定トルクを必ず守って下さい。

STDフランジボルト $T = 6.9 \text{ N} \cdot \text{m} (0.7 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



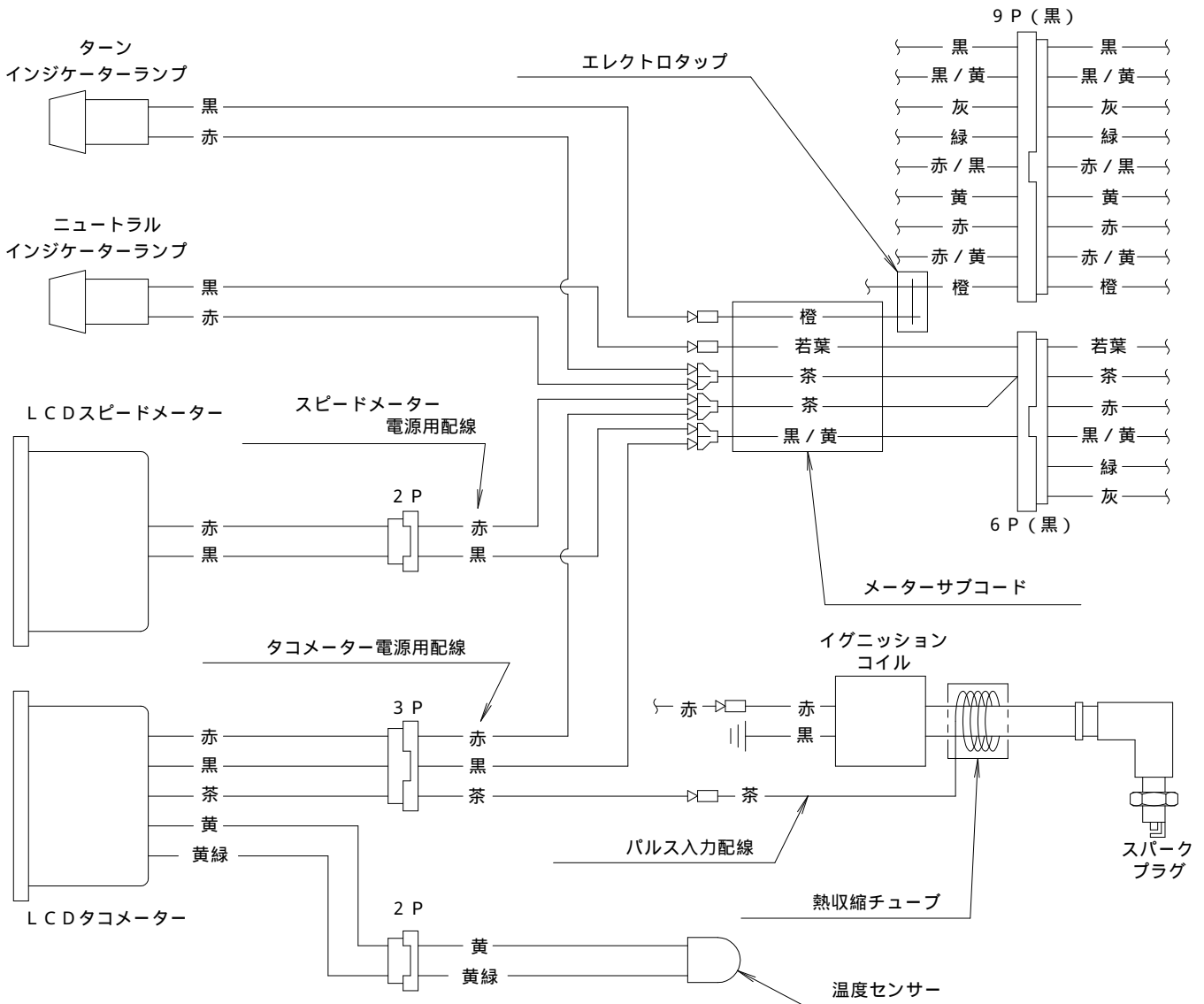
12. メーターステーにイグニッションスイッチをはめ込み、イグニッションスイッチカバーにて固定して下さい。この時、メーターステーの凹部とイグニッションスイッチの凸部が合うようにはめ込んで下さい。



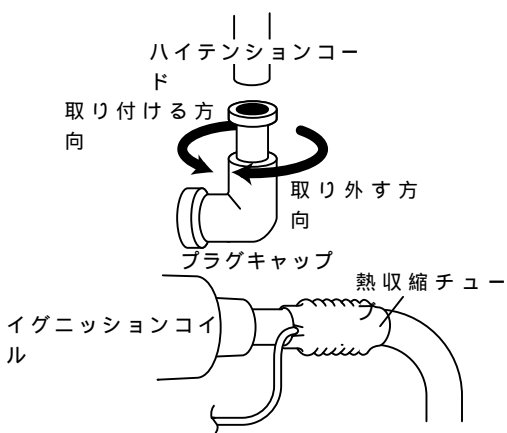
13. イグニッションスイッチのコードを車体左側から取り回しし、車体側2極カブラ(白)を車体左側に移動させ接続し、項目(3)で外したコードクランプ及びエアクリーナーボックスを取り付けて下さい。この時、イグニッションスイッチ根元部のコード補強金物を車体後方へ曲げて下さい。イグニッションスイッチコードはタンクとエアクリーナーボックスの間を通して下さい。
14. スピードメーターにスピードメーターケーブルを接続し、ハーネスカバーにインジケータランプ、各メーターのコードを通し、インジケータランプのコードをメーターサブコードと接続して下さい。
15. スピードメーターのコードの2極カブラ(黒)に2Pスピードメーター電源用配線のカブラ(黒)を接続し、メーターサブコードと接続して下さい。
16. タコメーターのコードの3極カブラ(黒)に3Pタコメーター電源用配線のカブラ(黒)を接続し、赤及び黒の配線をメーターサブコードと接続して下さい。
17. メーター電源用配線の茶コードと、パルス入力配線を接続し、イグニッションコイル付近まで取り回して下さい。余ったパルス入力配線は、ハンドルをきった時に余裕がある長さで切断して下さい。ハイトンションコードよりプラグキャップを取り外し、ハイトンションコードのイグニッションコイル付近でパルス入力配線を約5周巻き付けビニールテープ等で仮止めをし、熱収縮チューブを被せ、ドライバー等でチューブを収縮させて下さい。警告：タンクにガソリンが入っていますので、ライター等の火を使い、チューブを収縮させないで下さい。

18. **温度センサーを使用する場合**(使用しない場合は次へ進んで下さい。)
温度センサーのスティック部分を別売りオイルドレンボルトアダプターに取り付け、タコメーターのコードの2極カブラ(黒)まで取り回しし、接続して下さい。パルス入力配線は運転に支障がないようにタイラップ(150mm)2本を使用してフレーム等に固定して下さい。
19. メーター及びインジケータランプのコードは邪魔にならない様ハーネスカバー内で束ね、タイラップにてしっかりと固定して下さい。
20. フロントカウルのヘッドライトユニットの6極カブラ(白)を接続し、フロントカウルをSTDボルトにて取り付け固定して下さい。
21. エンジンを始動し、各メーターの照明ランプの点灯状態とインジケータランプの点灯、タコメーター及び油温計の作動を確認し、問題が無ければ安全な場所で低速走行を行いスピードメーターの作動を確認して下さい。警告：必ず換気の良い場所でエンジンを始動させて下さい。
22. 作動に問題が無ければ、左右シュラウドをSTDボルトにて取り付けして下さい。

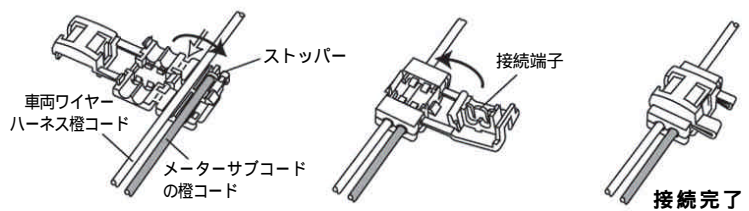
～ LCDスピード、タコメーター配線図～



～ハイテンションコード～



～エレクトロタップのご使用について～



接続しようとするコードをそれぞれエレクトロタップの溝に合わせ、位置決めをし(メーターサブコード側の配線をしっかりストッパーに当てて下さい。)

部分から折り返して下さい。これでコードが仮止めされます。

次に接続端子がついている方を折り返して下さい。プライヤーなどで完全にロックするまでしっかりと押さえて下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>

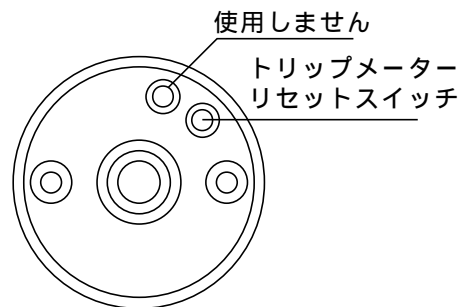
各部の名称と操作方法



スピードメーター
速度表示 (Km / h)

オドメーター
距離表示 (Km)

トリップメーター
距離表示 (Km)



[トリップメーターリセットスイッチ] を押すと、トリップメーターの走行距離が「0」に戻ります。オドメーターをリセットすることは出来ません。

例) 画面はスピードメーター時速 46 Km、オドメーター 326 Km、トリップメーター 326.4 Km、

ご注意ください

液晶の性質として、長時間、直射日光を受け続けると痛みが発生してしまいます。

なるべく液晶部分に夏場に長時間、直射日光が当たらないよう気を付けて下さい。万が一、黒くなってしまった場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やしてください。しばらくすると正常に戻りますが、真夏などの強い直射日光下で長時間放置した場合はシミのような後遺症が残るなどの支障が生じる可能性がありますので、特にお気を付けてください。

本製品は完全防水ではありません。

湿度の高い状態に置きますと本体内に湿気が浸入し画面がくもってしまう可能性があります。

バッテリー、プラグ、配線の状態（取り回しや、接続状況）によってはメーター数値表示の乱れなど、不具合が生じる可能性があります。バッテリー状態の悪い車両やバッテリーレス車両ではメーター電源電圧が安定しておりません。そのためエンジン始動時などに、一瞬数値表示に乱れを生じることがありますが故障ではありません。またメーター電源電圧の変化が大きい車両や点火系ノイズの激しい車両では、メーター内部の電気信号が乱れ、間違っただけの情報を表示してしまう可能性があります。

装着時は各部（特に配線、点火系、バッテリー）の点検をしっかりと行い、装着後も必ず定期的に点検をしてください。

バッテリー - 付き車両ご使用に関する注意点

STDメーターの照明用の赤コードへのプラスコード接続は絶対に行わないで下さい。

LCDメーターの電源用コードの色はプラス側が赤コード、マイナス側が黒コードです。

赤コードはエンジン回転数により周波数、最大電圧の変わる交流電源です。

LCDメーターに使用すると、LED夜間照明のショートや誤作動など、メーターとしての機能に支障をきたす恐れがありますので絶対に接続しないで下さい。

正しい配線ではメインキーONでメーターの電源が入ります。

エンジン始動に伴い、メーター電源が入る場合は配線が間違っています。

正しい配線でも充電能力の無くなったバッテリーを使用しますと、過電圧になりLED夜間照明がショートし点灯しなくなるなどの恐れがあります。（LED夜間照明修理不可能）定期的にバッテリー点検をして下さい。

KSR110 は点火信号の都合上、3500RPM 辺りでのみ LCD タコメーターの表示数値に乱れが生じます。エンジン回転数をこの回転域で固定走行した場合や、ゆっくりとエンジン回転数を上げた場合、下げた場合などに数字として確認できます。上記以外の回転数では正常に作動します。ご理解のほどよろしく申し上げます。